



613-002289 Rev.A 160420

AT-SecureEnterpriseSDNコントローラーアプライアンス

AT-SESC-APL

ユーザーマニュアル

AT-SESC-APL

ユーザーマニュアル

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用を意図した設計および製造はされておられません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じて、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

安全のために



必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源ケーブル・プラグを抜き、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電のおそれがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときはコネクター・回路部分にさわらない

感電の原因となります。

稼働中に周辺機器の取り付け・取り外し（ホットスワップ）に対応した機器の場合でも、コネクターの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



感電注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。

製品の取扱説明書に記載の電圧で正しくお使いください。なお、AC 電源製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい配線器具を使用する

本製品に付属または取扱説明書に記載のない電源ケーブルや電源アダプター、電源コンセントの使用は火災や感電の原因となります。



正しい器具

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源ケーブル・プラグを抜く

感電の原因となります。



ケーブルを
抜く

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。

ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。

光ファイバーインターフェースを持つ製品をお使いの場合は、光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースなどをかけた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）

はじめに

このたびは、AT-SESC-APL をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、ソフトウェア版 AT-SESC と同様の機能を持つアプライアンスサーバーです。本製品の導入により、アライドテレスिस社製 OpenFlow 対応ネットワーク装置へのアクセス制御が可能となります。本製品は、SDN の特長を活かした Application Interface による各種業務アプリケーションとの連携によって、ネットワークの運用の効率化とセキュリティの強化を実現します。

最新のファームウェアについて

弊社は、改良（機能拡張、不具合修正など）のために、予告なく本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。

また、ご購入時に機器にインストールされているファームウェアは最新でない場合があります。最新のファームウェアは、弊社ホームページから入手して頂けますが、ファームウェアバージョンアップのご利用には保守契約へのご加入が必要です。

弊社ホームページ内の保守契約者向けページでは、各バージョンのリリースノートにて注意事項や最新情報をご案内していますので、掲載のリリースノートの内容をご確認ください。

<http://www.allied-tesesis.co.jp/>

保守契約の詳細につきましては、本製品をご購入いただいた代理店にご相談ください。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、次の3部で構成されています。

各マニュアルは弊社ホームページに掲載しておりますので、よくお読みのうえ、本製品を正しくご使用ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

ユーザーマニュアル（本書）

本製品の特長や各部の説明、設置と接続、使い始めるための情報が記載されています。

リファレンスマニュアル

本製品の各設定画面へのアクセスの方法や設定の詳細、具体的な設定例が記載されています。

リリースノート（弊社ホームページ内保守契約者向けページに掲載）

ファームウェアリリースで追加された機能、変更点、注意点や、ユーザーマニュアルとリファレンスマニュアルの内容を補足する最新の情報が記載されています。リリースノートは弊社ホームページ内の保守契約者向けページに掲載されています。

表記について

アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味	説明
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

図 0.0.1

製品名の表記

「本製品」と表記されている場合は AT-SESC-APL を意味します。

本書で使用されている画面表示例は、開発中のバージョンを用いているため、実際の製品とは異なる場合があります。また、旧バージョンから機能的な変更がない場合は、画面表示などに旧バージョンのものを使用する場合があります。あらかじめご了承ください。

目次

安全のために.....	4
はじめに	6
最新のファームウェアについて	6
マニュアルの構成.....	7
表記について.....	8
目次.....	9
1 お使いになる前に.....	11
1.1 梱包内容	12
1.2 特長	13
1.3 各部の名称と働き	14
前面	14
背面	19
側面	20
2 設置と接続	21
2.1 設置方法	22
2.2 設置するときの注意	23
2.3 設置.....	24
平らなところへの水平方向の設置	24
19 インチラックに取り付ける.....	25
2.4 ネットワークへの接続	27
UTP ケーブル	27
UTP ケーブルの接続.....	27
2.5 電源ケーブルの接続	28
起動（電源スイッチのオン）.....	28
シャットダウン	29
2.6 設定の開始	30
本製品のご購入時設定	30
ライセンスのインストール	30
はじめて本製品に触れるお客様へ.....	31
A 付録.....	33
A.1 困ったときに.....	34
LED 表示を確認する	34
トラブル例	34
A.2 仕様.....	36
コネクタ・ケーブル仕様	36
本製品の仕様.....	38

A.3 製品保証	39
保証と修理	39
ファームウェアのバージョンアップ	39
保守契約	39
ご注意	39
商標について	40
電波障害自主規制について	40
廃棄方法について	40
輸出管理と国外使用について	40
マニュアルバージョン	40

1

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、各部の名称と働きについて説明しています。

1.1 梱包内容

最初に梱包箱に以下のものが入っていることを確認してください。

- AT-SESC-APL 本体 1台
- 電源ケーブル (1.8m) 1本
- ゴム足 4個
- 19 インチラックマウントキット 1式
 - ・ ブラケット 2個
 - ・ 皿ネジ (M3×8mm) 10個
- 本製品をお使いの前に 1部
- 梱包内容 1部
- 製品保証書 1枚
- サポートサービスに関するご案内 1部

※ 同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

※ 同梱の電源ケーブルは本製品専用です。他の電気機器では使用できませんので、ご注意ください。

※ 本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

1.2 特長

本製品の主な特長は次のとおりです。

- 登録されたユーザー、デバイスの情報に基づき、管理下の OpenFlow 対応ネットワークスイッチおよび無線 LAN アクセスポイントにパケット制御フローを設定し、デバイスのネットワーク接続を一括して制御
- ユーザーに対し、利用できるネットワーク、ロケーション、スケジュールをセキュリティーポリシーとして設定可能
- 脅威検出、デバイス管理、人事情報管理など、各種業務アプリケーションとの連携によって、ネットワーク運用の効率化とセキュリティー強化を実現
- OpenFlow 対応スイッチ / 無線 LAN アクセスポイント 10 台までを管理できるライセンスが登録済み。ライセンスの追加により拡張が可能
- LCD 画面と操作ボタンによる本製品の状態の確認、再起動、シャットダウン、設定の初期化の操作が可能
- 付属のラックマウントキットを使用して 19 インチラックに設置可能

1.3 各部の名称と働き

前面

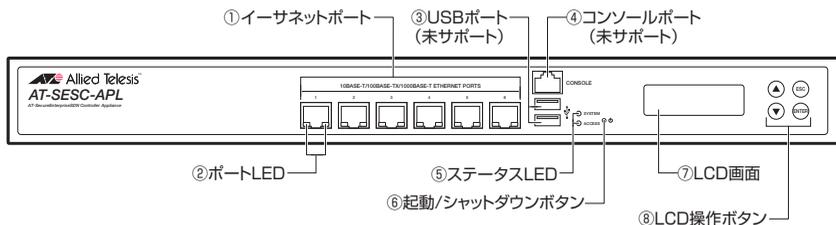


図 1.3.1 前面

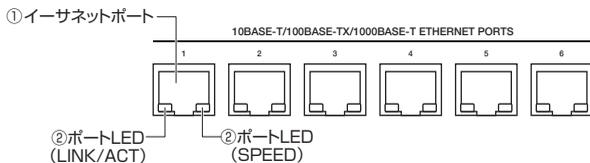


図 1.3.2 イーサネットポート

①イーサネットポート

1000BASE-T または 100BASE-TX または 10BASE-T に対応したイーサネットポートです。1～6の6つのポートがあり、各ポートは独立したインターフェースとして動作します。

各ポートは、MDI/MDI-X 自動認識機能とオートネゴシエーション機能をサポートしており、ケーブルの種類（ストレート / クロス）や接続先ポートの種類（MDI/MDI-X）にかかわらず、最適な通信速度（10Mbps/100Mbps/1000Mbps）と通信モード（Full Duplex/Half Duplex）を自動設定します。



1番ポートのみ使用可能（2～6番ポートは未サポート）です。

注意

1.3 各部の名称と働き

②ポート LED

各イーサネットポートのリンクとアクティビティ、リンク速度を表示する LED です。

LED	色	状態	表示内容
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
		点滅	パケットを送受信しています。
		消灯	リンクが確立していません。
SPEED	橙	点灯	リンク速度は 1000Mbps です。
	緑	点灯	リンク速度は 100Mbps です。
	消灯	消灯	リンク速度は 10Mbps です。

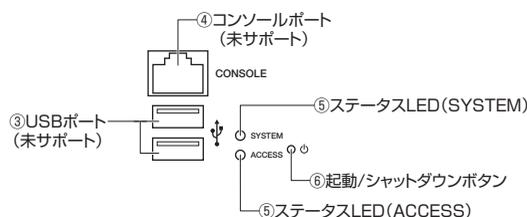


図 1.3.3 USB ポート周辺

③ USB ポート (未サポート)

④コンソールポート (未サポート)

弊社メンテナンス用のコンソールポートです (お客様はご使用になれません)。

⑤ステータス LED

本製品の状態を表示する LED です。

LED	色	状態	表示内容
SYSTEM	緑	点灯	本製品が動作しています。
		消灯	本製品が動作していません
ACCESS	赤	点灯	内蔵ストレージにアクセスしています。
		消灯	内蔵ストレージにアクセスしていません。

⑥起動 / シャットダウンボタン

本製品の起動とシャットダウン (停止) を行う押しボタンスイッチです。本製品が動作しているときに押すとシャットダウンします。シャットダウンが完了すると、SYSTEM LED が消灯します。本製品が停止しているときに押すと起動します。ボタンは、小さな穴の奥にあります。細い棒などで押ししてください。



鋭利なもの (縫い針など) や通電性のあるもので、ボタンを押さないでください。

注意

1.3 各部の名称と働き

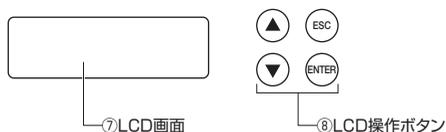


図 1.3.4 LCD と操作ボタン

⑦ LCD 画面

AT-SESC-APL の情報確認とメニュー表示に使用します。
通常は、以下の画面が表示され、15 秒間隔で切り替わります（通常表示）。

システム時刻の表示例

```
2016-02-03
14:50
```

ファームウェアバージョンとシステム起動時間の表示例

```
1.1.0
0day 00:10
```

インターフェース情報の表示例

```
Port:    port1
192.168.1.10/24
```

CPU 温度と使用率の表示例

```
CPU: 41.0C 0.0%
```

メモリー / 内蔵ストレージの使用率と温度センサー状態の表示例

```
MEM:8%   DSK:2%
T1:38.0  T2:40.0
```

ファン 1/2 回転数の表示例

```
Fan1:XXXXXXXXRPM
Fan2:XXXXXXXXRPM
```

ファン 3 回転数と AT-SESC プロセス状態の表示例

```
Fan3:XXXXXXXXRPM
AT-SESC PROC:OK
```

通常表示中に「ESC」ボタンを押すと操作選択メニューが表示されます。操作選択メニューについては、次項「⑧ LCD 操作ボタン」をご覧ください。

通常表示中に「ENTER」ボタンを押すと、画面右下に Hol (Hold) と表示され、表示固定モードに入ります。表示内容がその時点での表示項目に固定されます。

1.3 各部の名称と働き

表示固定モードでは、「▲」「▼」ボタンで表示項目の切り替えができます。「ENTER」ボタンで表示固定モードの解除ができます。

表示固定モード解除時には、画面右下に Rotat (Rotation) と表示されます。

「▼」を押すと次の画面に切り替わり、画面右下に Nex (Next) と表示されます。

「▲」を押すとひとつ前の画面に切り替わり、画面右下に Pre (Prev) と表示されます。

⑧ LCD 操作ボタン

LED 画面に表示されるメニューを操作するボタンです。

▲ (上移動)、▼ (下移動)、ESC、ENTER の 4 つがあります。

メニュー操作は次の手順で行います。

1 操作選択メニューの表示

LCD 画面の通常表示中に「ESC」ボタンを押してください。操作選択メニューが表示されます。

2 実行する操作の選択

操作選択メニューが表示されたら、「▲」「▼」ボタンで実行したい操作を選び、「ENTER」ボタンを押してください。

操作選択メニューから通常の LCD 表示に戻る場合は「ESC」ボタンを押してください。

選択できる操作は次の 3 つです。

Reboot

AT-SESC-APL を再起動します。

Reboot を実行すると、ただちに再起動処理が開始されます。

Shutdown

AT-SESC-APL をシャットダウンします。

Shutdown を実行すると、ただちにシャットダウン処理が開始されます。

Factory Reset

AT-SESC-APL のシステム設定と認証データを初期化します。

Factory Reset を実行すると、システム設定と認証データが消去され、再起動処理が開始されます。なお、SSL 証明書、ライセンス情報 (基本ライセンスおよび追加ライセンス)、ログは初期化されません。

1.3 各部の名称と働き

3 実行の確認

操作選択メニューで実行したい操作を選び、「ENTER」ボタンを押すと、次の確認画面が表示されます。

Reboot を選択したときの表示例

```
■■ Reboot ■■■  
> No  
> Yes
```

操作を実行してよいときは、「▲」「▼」ボタンで Yes を選択し、「ENTER」ボタンを押してください。選択した操作がただちに実行されます。

操作を取りやめたいときは「▲」「▼」ボタンで No を選択して「ENTER」ボタンを押すか、「ESC」ボタンを押してください。これにより操作選択メニューに戻ります。

1.3 各部の名称と働き

背面

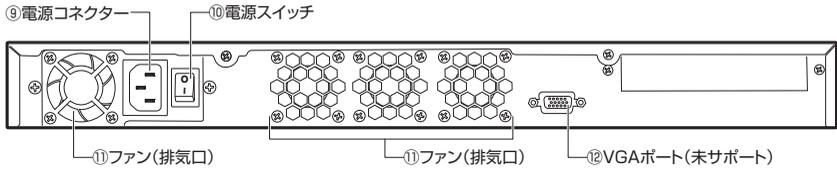


図 1.3.5 背面

⑨電源コネクター

AC 電源ケーブルを接続するコネクターです。

同梱の電源ケーブルは AC100V 用です。AC200V でご使用の場合は、設置業者にご相談ください。

⑩電源スイッチ

本製品の電源をオン / オフするスイッチです。このスイッチをオフからオンにすると、自動的に本製品が起動します。このスイッチをオフにするときは、必ず本製品をシャットダウンしてからオフにしてください。



シャットダウンせずに電源スイッチをオフにすると、正常に起動できなくなる恐れがあります。



ファンをふさがないでください。周囲に隙間をあけて空気がとおるようにしてください。

⑫VGAポート(未サポート)

1.3 各部の名称と働き

側面

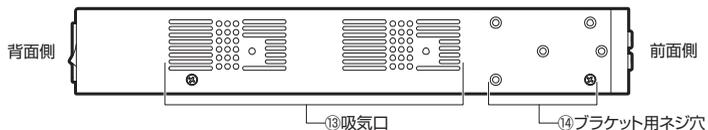


図 1.3.6 側面

⑬ 吸気口

本製品内部を冷却するための吸気口です。



吸気口をふさがらないでください。周囲に隙間をあけて空気がおとるようにしてください。

⑭ ブラケット用ネジ穴

19 インチラックマウント用ブラケットを取り付けるネジ穴です。本製品の左右にあります。

2

設置と接続

この章では、本製品の設置方法と機器の接続、使い始めるときの情報について説明しています。

2.1 設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置
- ラックマウントキットによる 19 インチラックへの水平方向の設置



弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。



水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合にはただちに使用をやめ、弊社サポートセンターにご連絡ください。



製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

2.2 設置するときの注意

本製品の設置や保守を始める前に、必ず4～5ページの「安全のために」をよくお読みください。設置については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 底面を上にして設置しないでください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

2.3 設置

平らなところへの水平方向の設置

本製品を机の上などの水平な場所に置いて使用する場合は、必ず付属のゴム足を本製品裏面の四隅に取り付けてください。ゴム足は、衝撃を吸収するクッションや滑り止めの役目をします。

- 1 ゴム足を台紙からはがします。
- 2 本体底面の4隅にゴム足を貼り付けます。

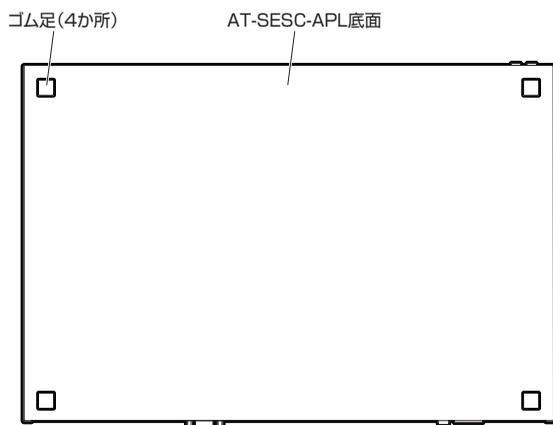


図 2.3.1 ゴム足の取り付け

2.3 設置

19 インチラックに取り付ける

付属の 19 インチラックマウントキットを使用して、EIA 規格の 19 インチラックに取り付けます。

設置可能方向

必ず次の図の○の方向に設置してください。

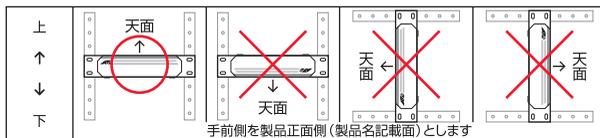


図 2.3.2 壁面への取り付け可能方向

 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。

 ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず付属のものを使用してください。それ以外のものを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。

 本製品を 19 インチラックへ取り付ける際は適切なネジで確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

1 両側面の前面下側の皿ネジ (M3×6mm) を外します。

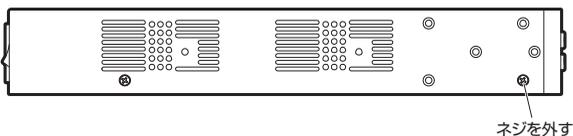


図 2.3.3 ネジの取り外し

2.3 設置

- 2 19 インチラックマウント用ブラケットを本製品の両側面に取り付けます。

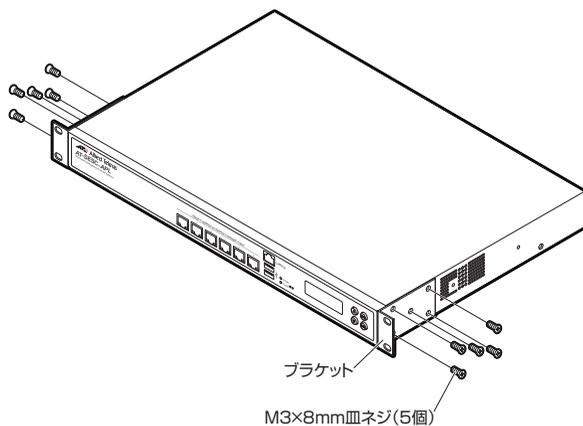


図 2.3.4 ブラケットの取り付け

- 3 本製品を 19 インチラックに取り付けます。

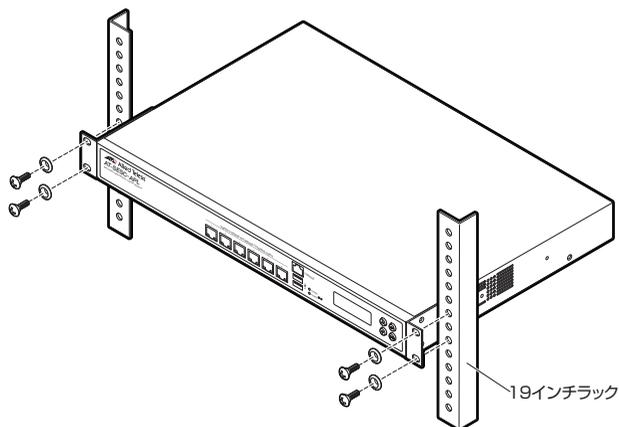


図 2.3.5 19 インチラックへの取り付け



19 インチラック取り付け用のネジは付属しておりません。お客様にてご用意をお願いいたします。

2.4 ネットワークへの接続

UTP ケーブル

スイッチやHUB との接続には、次のような UTP ケーブルをご使用ください。

カテゴリー

10BASE-T はカテゴリー 3 以上、100BASE-TX はカテゴリー 5 以上、1000BASE-T はエンハンスド・カテゴリー 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

長さ

本製品とスイッチを接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

タイプ

本製品は MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートしていますので、接続先のポートの種類 (MDI/MDI-X) にかかわらず、ストレート / クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。



ストレートタイプの UTP ケーブルの使用をおすすめいたします。

UTP ケーブルの接続

- 1 UTP ケーブル先端の爪部分を下側に持ち、本製品のイーサネットポートのポート 1 に挿入して、カチッと音がするまで差し込みます。

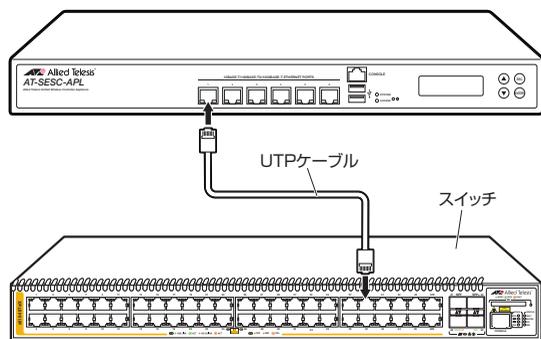


図 2.4.1 UTP ケーブルの接続

- 2 UTP ケーブルのもう一端をスイッチなどのネットワーク機器の LAN ポートに接続します。

2.5 電源ケーブルの接続

- 1 本製品の電源ネクターに電源ケーブルを接続します。

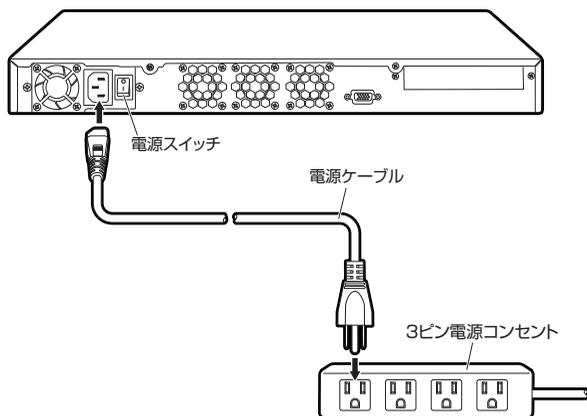


図 2.5.1 電源ケーブルの接続

- 2 電源ケーブルのプラグを電源コンセントに接続します。

起動（電源スイッチのオン）

本製品背面の電源スイッチをオンにすると本製品は自動的に起動します。本製品が起動すると、前面の SYSTEM LED が点灯します。



電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあげてください。

起動 / シャットダウンボタンによる起動

シャットダウンした状態で電源スイッチがオンのままであれば、起動 / シャットダウンボタンを押すことにより起動します。本製品が起動すると、前面の SYSTEM LED が点灯します。

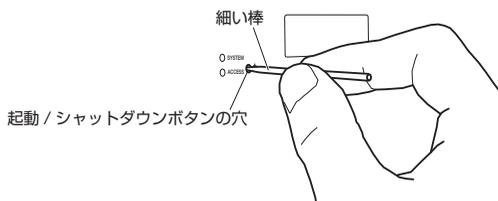


図 2.5.2 起動 / シャットダウンボタンを押す

2.5 電源ケーブルの接続

シャットダウン

本製品が動作しているときに、起動 / シャットダウンボタンを押すと本製品はシャットダウンします。シャットダウンが完了すると、SYSTEM LED が消灯します。

電源スイッチのオフ

シャットダウンが完了したことを確認して（SYSTEM LED が消灯していることを確認して）、電源スイッチをオフにしてください。



必ずシャットダウンしていることを確認してから電源スイッチをオフにしてください。シャットダウンしていない状態で電源をオフにすると、故障の原因となります。

2.6 設定の開始

本製品のご購入時設定

本製品の設定は、設定用コンピューターの Web ブラウザーを使用します。本製品にアクセスするための初期設定は、次のとおりです。

IP アドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
Web サーバープロトコル	HTTPS
Web サーバーポート番号	443
初期管理ユーザー名	manager
初期パスワード	friend
接続ポート	ポート 1

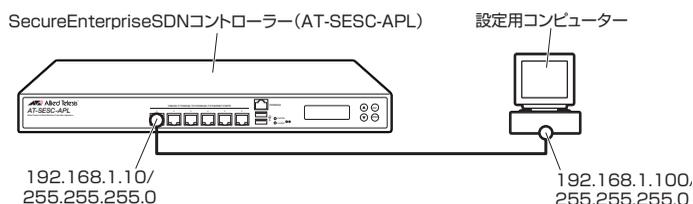


図 2.6.1 設定用コンピューターの接続

 **ヒント** 本製品は、MDI/MDI-X 自動認識機能をサポートしておりますので、ストレートタイプの UTP ケーブルを使用して、スイッチを経由せずに本製品と設定用コンピューターを直接接続することができます。

 **参照** リファレンスマニュアル > 設定画面へのアクセス

ライセンスのインストール

本製品には、OpenFlow 対応スイッチ / 無線 LAN アクセスポイントを 10 台まで管理できる基本ライセンスがインストールされています。

OpenFlow 対応スイッチ / 無線 LAN アクセスポイントを 11 台以上管理する場合は、別途、追加ライセンスの購入とインストールが必要です。

 **参照** リファレンスマニュアル > ライセンスのインストール

2.6 設定の開始

はじめて本製品に触れるお客様へ

はじめて本製品に触れるお客様は、最初にリファレンスマニュアルの「クイックツアー」をご覧ください。このガイドをおすすめいたします。「クイックツアー」は、本製品の基本的な機能について簡単に説明しています。

リファレンスマニュアル、リリースノートの所在に関しては、本書「マニュアルの構成」(p.7)を参照してください。

2.6 設定の開始

A

付録

この章では、トラブル解決、コネクタやケーブルの仕様、保証とユーザーサポートについて説明しています。

A.1 困ったときに

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの解決方法を紹介します。

LED 表示を確認する

LED の状態を観察してください。LED の状態は問題解決に役立ちますので、お問い合わせの前にどのように表示されるかを確認してください。

 「前面」(p.14) の「LED」の説明

トラブル例

電源スイッチをオンにしても SYSTEM LED が点灯しない

電源ケーブルが正しく接続されていますか

 「2.5 電源ケーブルの接続」(p.28)

電源ケーブルが接続されている電源コンセントには、電源が供給されていますか
別の電源コンセントに接続してください。

起動 / シャットダウンボタンを押しても SYSTEM LED が点灯しない

電源スイッチがオンになっていますか

 「2.5 電源ケーブルの接続」(p.28)

電源ケーブルが正しく接続されていますか

 「2.5 電源ケーブルの接続」(p.28)

電源ケーブルが接続されている電源コンセントには、電源が供給されていますか
別の電源コンセントに接続してください。

SYSTEM LED は点灯するが、正しく動作しない

電源をオフにした後、すぐにオンにしませんか

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

UTP ケーブルを接続してもポートの LINK/ACT LED が点灯しない

接続先の機器の電源は入っていますか

正しい UTP ケーブルを使用していますか

A.1 困ったときに

UTP ケーブルのカテゴリ

10BASE-T はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T はエンハンスド・カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使用します。

UTP ケーブルの長さ

ケーブル長は最大 100m と規定されています。

 「2.4 ネットワークへの接続」(p.27)

A.2 仕様

コネクタ・ケーブル仕様

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T イーサネットポート

RJ-45 型のモジュージャックを使用しています。



図 A.2.1 RJ-45 モジュージャック

信号線名は次のとおりです。

コンタクト	1000BASE-T		10BASE-T/100BASE-TX	
	MDI	MDI-X	MDI 信号	MDI-X 信号
1	BI_DA +	BI_DB +	TD + (送信)	RD + (受信)
2	BI_DA -	BI_DB -	TD - (送信)	RD - (受信)
3	BI_DB +	BI_DA +	RD + (受信)	TD + (送信)
4	BI_DC +	BI_DD +	未使用	未使用
5	BI_DC -	BI_DD -	未使用	未使用
6	BI_DB -	BI_DA -	RD - (受信)	TD - (送信)
7	BI_DD +	BI_DC +	未使用	未使用
8	BI_DD -	BI_DC -	未使用	未使用

ケーブルの結線は下図のとおりです。

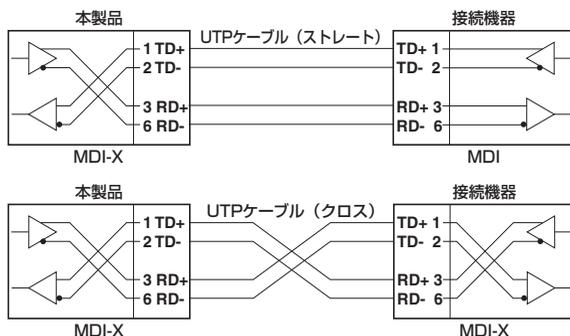


図 A.2.2 10BASE-T/100BASE-TX ケーブル結線図

A.2 仕様

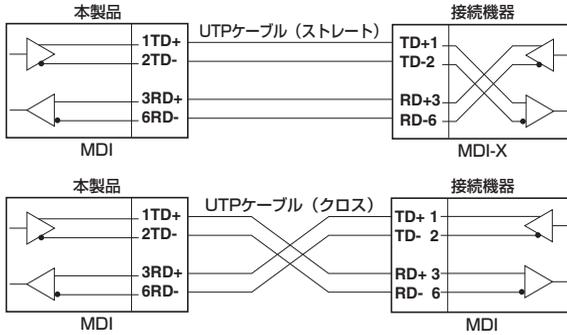


図 A.2.2 10BASE-T/100BASE-TX ケーブル結線図 (続)

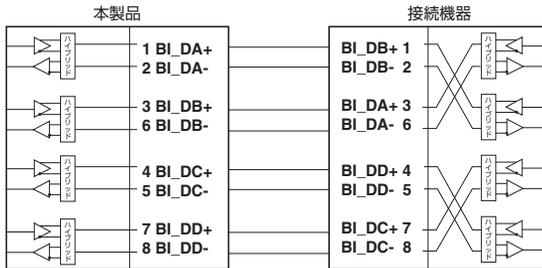


図 A.2.3 1000BASE-T ケーブル結線図

A.2 仕様

本製品の仕様

準拠規格	
IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE 802.3u 100BASE-TX、IEEE 802.3ab 1000BASE-T、IEEE 802.3x Flow Control	
適合規格	
EMI 規格	VCCI クラス A
安全規格	UL60950-1、CSA-C22.2 No.60950-1
EU RoHS 指令	
電源仕様	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90-264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	3.5-1.5A
最大入力電流 (実測値)	0.8A
平均消費電力	30W (最大 67W)
平均発熱量	110kJ/h (最大 240KJ/h)
環境条件	
動作時温度	0 ~ 40 °C
動作時湿度	20 ~ 80% (結露なきこと)
保管時温度	-10 ~ 60 °C
保管時湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
外形寸法	
438 (W) × 292.1 (D) × 44 (H) mm (突起部含まず)	
質量	
4.7kg	
ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ETHERNET PORT (RJ-45 コネクター) × 6、オートネゴシエーション、MDI/MDI-X 自動認識	

A.3 製品保証

保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。保証期間内における本製品の故障の際には、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

<http://www.allied-tesisis.co.jp/support/repair/>

 0120-860332

携帯電話／PHS からは：045-476-6218

月～金（祝・祭日を除く） 9:00～12:00 13:00～17:00

※ 本製品は保守契約必須製品です。保守契約にご加入済みの場合は、契約締結時にご案内した保守サービス窓口までご連絡ください。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

ファームウェアのバージョンアップ

ファームウェアバージョンアップのご利用には保守契約へのご加入が必要です。

保守契約

保守契約の詳細につきましては、本製品をご購入いただいた代理店にご相談ください。

ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。

弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2016 アライドテレシスホールディングス株式会社

A.3 製品保証

商標について

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

マニュアルバージョン

2016年4月 Rev.A 初版 (Ver.1.1.0)

